

令和8年度 船橋市病院事業計画

● 事業概要

I 診療科目

31 科

内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・代謝内科・緩和ケア内科・腫瘍内科・脳神経内科・
腎臓内科・精神科・リウマチ科・小児科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・
脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・
リハビリテーション科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・歯科口腔外科・救急科

II 病床数

一般病床 449床（一般・救急病床：429床、緩和ケア病棟：20床）

III 施設

A館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上8階建
B館 鉄筋コンクリート造 地上6階建
C館 鉄筋コンクリート造 地上5階建
D館 鉄筋コンクリート造 地上3階建
E館 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階建
感染症外来診察室 鉄骨造 平屋建
院外看護師宿舎 鉄筋コンクリート造 地上5階建一部3階建
厨房休憩室 鉄筋造 地上2階建
立体駐車場 鉄骨造 地上3階屋上建
車庫 鉄骨造 平屋建
保育棟 鉄骨造 平屋建
(旧)保育棟 軽量鉄骨造 平屋建

● 事業計画

I 患者数等

入院 年間延べ患者数（一般・救急病床）：
年間延べ患者数（緩和ケア病棟）：
新入院患者数
1日当たり患者数：
外来 年間延べ患者数：
1日当たり患者数：

中期経営計画	R8予算積算数値
137,760人	132,813人
6,459人	6,549人
14,422人	13,936人
395.1人	381.8人
239,535人	220,010人
979.0人	901.0人

【内訳】

(1) 一般病床

入院 年間延べ患者数 :
1 日当たり患者数 :
外来 年間延べ患者数 :
1 日当たり患者数 :

中期経営計画	R8予算積算数値
48,216人	49,179人
132.1人	134.7人
228,950人	214,170人
950.0人	885.0人

(2) 救急病床 (2 次 + 3 次)

入院 年間患者数 :
1 日当たり患者数 :
外来 年間延べ患者数 :
1 日当たり患者数 :

中期経営計画	R8予算積算数値
89,544人	83,634人
245.3人	229.1人
10,585人	5,840人
29.0人	16.0人

(3) 緩和ケア病棟

入院 年間延べ患者数 :
1 日当たり患者数 :

中期経営計画	R8予算積算数値
6,459人	6,549人
17.7人	17.9人

Ⅱ 病床稼働率等

1. 病床稼働率
2. 平均在院日数

中期経営計画	R8予算積算数値
88.0%	85.0%
10.0日	10.0日

Ⅲ 紹介率・逆紹介率

1. 紹介率
2. 逆紹介率

中期経営計画	R8予算積算数値
74.0%	—
115.0%	—

令和8年度の取り組み

大	中	小	No.	取り組み	指標	目標	
安全で信頼される医療の提供（医療の質の向上）							
感染管理体制の充実							
感染防止活動の充実							
	1	感染防止対策の推進	感染対策研修会		年2回		
			ICTカンファレンス・ラウンド		週1回		
			感染対策向上加算1相互チェック		年1回		
	2	抗菌薬適正使用支援チームの活動の推進	AST研修会		年2回		
			ASTカンファレンス・ラウンド		週1回		
			J-SIPHE		毎月参加		
	感染症の流行に備えた対策の強化						
	3	感染症対応業務継続計画の見直し	感染BCP追加修正事項の評価		評価		
	医療安全管理体制の充実						
	医療安全文化の醸成						
4	インシデント報告数の維持と内容の周知	インシデント報告件数		8,000件以上			
		インシデント報告件数ゼロの部署		解消			
		医師・研修医のインシデント報告割合		10%維持			
		医療安全定期便発行		年12回			
		安全対策文書の発行（新規と再掲）		年8通以上			
5	内部評価による安全管理体制の検証	内部監査		年2回			
		病棟ラウンド		年6回以上			
		医療安全マニュアル改訂		年2項目以上			
医療事故への対応							
6	医療事故対応の体制整備	医療安全研修		年2回以上			
		医療安全管理者養成研修受講生		年2名			
		事例検討会、安全管理責任者カンファレンス		年36回以上			
救命救急センターの充実							
積極的な受入体制の強化							
	7	救急車の受入台数の増加	救急車受入台数		年4,500台以上		
重症救急患者の受入増加							
	8	重症救急患者の受入増加	重症（※）救急受入患者数 ※ICUまたはACUに入院、外来死亡、処置困難でA3病棟の外個室に入院した患者		年2,100人以上		
重度外傷センターの充実							
	9	外傷救急患者の受入増加	重症外傷（※）救急受入患者数 ※重症救急患者のうち、外傷学会で定められた基準であるISS15点以上の患者		年60人以上		
脳卒中センターの充実							
	10	脳梗塞超急性期治療の充実	rt-PA静注療法		年30件以上		
			血栓回収療法		年70件以上		
			脳卒中相談窓口の対応件数		年70件以上		
地域がん診療連携拠点病院の充実							
診療体制の推進							
	11	化学療法	がんに係る薬物療法延べ患者数		年2,400人以上		
			連携充実加算算定件数		年700件以上		
	12	放射線治療	IMRT実施件数		年180人以上		
			前立腺癌治療開始までの期間が1週間以内		80%以上		
			肺癌患者のIMRT施行が1週間以内		50%以上		

令和8年度の取り組み

大	中	小	No.	取り組み	指標	目標
			13	ロボット手術	泌尿器科ロボット手術件数	年100件以上
					外科ロボット手術件数	年30件以上
					産婦人科ロボット手術件数	年20件以上
			14	がん相談窓口機能の充実	がん相談延べ件数	年2,200件以上
					乳がん連携パス	年80件以上
					前立腺がん連携パス	年15件以上
			緩和ケアセンターの充実			
			15	緩和ケア病棟の運営充実	専従医2名体制	2名体制
			16	緩和ケア外来の充実	緩和ケア診療加算算定件数	年75件以上
			ゲノム医療の推進			
			17	遺伝カウンセリング外来の充実	BRCA遺伝学的検査	年120例以上
			18	がんゲノム医療連携病院の充実	がん遺伝子パネル検査出検	年15件以上
			地域医療支援病院の充実			
			地域における医療資源の効率化			
			19	連携強化に向けた医療従事者の派遣	派遣回数	前年度以上
			20	高度医療機器の共同利用	検査機器利用件数	年900件以上
			21	地域医療研修の充実	年間研修会開催件数	年40件以上
			地域における医療連携の推進			
			22	パンデミックを見越した連携強化	感染対策向上加算1-2カンファレンス年4回のうち1回は新興感染症等の発生を想定した訓練	1回
					外来感染対策向上加算施設の指導	年4回
			23	医療安全に関する地域連携の強化	医療安全対策地域連携加算Ⅰとの連携	年1回
					医療安全対策地域連携加算Ⅱとの連携	年1回
			前方連携の強化			
			24	広報・渉外活動の充実	連携医訪問	年100件以上
					連携医メーリングリスト新規登録件数	年10件以上
			25	紹介しやすい予約・受診方法の推進	連携医予約数	年7,500件以上
			26	紹介率・逆紹介率の向上	紹介率	74%以上
					逆紹介率	115%以上
			後方連携の強化			
			27	退院支援の充実・在宅療養支援の強化	入退院支援加算件数	月600件以上
					入院時支援加算件数	月180件以上
					退院前・後訪問指導件数	年60件以上
			28	療養先選択肢の拡大に向けた、病院・介護施設との連携強化	転院先となる病院・介護施設の訪問	年15件以上
			災害拠点病院の充実			
			災害時における体制の整備			
			29	防災訓練の充実、DMATの充実	防災訓練の実施	年1回
					DMAT各メンバーのDMAT研修参加	年1回
			30	業務継続計画（災害BCP）等の見直し	防災委員会にて災害BCPの見直しを行う	年1回
			患者サービスの向上			
			外来待ち時間の短縮			
			31	診察待ち時間の短縮	診察予約時間1時間以内診察開始85%以上の診療科	13診療科以上
			32	会計待ち時間の短縮	待ち時間の年度平均時間	10分以内

令和8年度の取り組み

大	中	小	No.	取り組み	指標	目標
			患者満足度の向上			
			33	患者満足度調査の実施	患者満足度調査 接遇の満足度（5点満点）	4.6点以上
			34	接遇研修の充実	新規採用職員を対象に実施	年1回
					新規採用職員以外を対象に実施	年1回
		広報の充実				
		35	地域住民向け医療講座の充実	地域住民向け医療講座	年12回以上	
		36	ホームページの充実	トップページのお知らせ更新回数	年100回以上	
				各部門のページ更新回数	年200回以上	
		良質なチーム医療				
		チーム医療の充実				
	37	救急科ICUチームの充実	救急科ICUチーム介入件数	年25件以上		
	38	骨粗鬆症リエゾンチームの充実	骨粗鬆症リエゾンチームの介入患者（入院）	年90件以上		
	39	排尿ケアチームの充実	排尿ケアチーム介入患者数	年80人以上		
			排尿自立支援加算	年150件以上		
	40	認知症ケアチームの充実	認知症ケアチーム介入事例数	年390件以上		
			精神科リエゾンチーム介入事例数のうち、せん妄患者事例数	年170件以上		
	41	摂食嚥下サポートチームの充実	摂食嚥下機能回復体制加算2算定件数	年30件以上		
	42	RRSの充実	RRT研修会	年2回		
			RRSカンファレンス	年12回		
			安全管理委員会での報告	毎月実施		
			RRTメンバーの増員	年2名		
			RRSの要請数	年60回以上		
	43	更なる医療チームの組織化の推進	心不全チームの構成・活動開始（令和9年度までに）	開始		
	急性期リハビリテーションの充実					
	44	疾患別リハビリテーションの推進	疾患別リハビリテーション単位数	年100,000単位以上		
	クリニカルパスの整備					
	45	効率の良い医療を提供するためのクリニカルパスの整備、パス認定士の育成	見直すパス・新規パス合計件数	年260件以上		
パス使用割合			65%以上			
パス指導者の資格の取得（令和9年度までに）			1人			
臓器提供体制の整備						
46	臓器提供5類型施設の充実	院内研修会	年1回			
		脳死判定・臓器提供シミュレーション	年1回			
		院内コーディネータミーティング	月1回			
		院内コーディネーターの育成	年1人			
安定した病院経営						
収入の確保						
患者数の増加						
47	新入院患者数の増加	新入院患者数	年14,422人以上			
48	病床稼働率の上昇	病床稼働率	88.0%以上			
診療報酬請求の最適化						
49	加算取得の推進	院内検討会で取得を目指した加算のうち、90%の取得	90%			
50	診療報酬単価向上への取り組み	医事課からのお知らせ発行	年2回			
		効果検証の実施	実施			

令和8年度の取り組み

大	中	小	No.	取り組み	指標	目標
			DPC実績指標の向上			
			51	DPC入院期間Ⅱ 超え期間の割合の縮小	DPC入院期間Ⅱ 超え率	25%以内
			52	機能評価係数Ⅱの向上	各係数における対前年度比増加	増加
			その他の収入確保策			
			53	手術室の効率的な運用	A館手術室稼働率	78%以上
					E館手術室稼働率	38%以上
			54	緊急手術の積極的な受け入れ	全身麻酔件数	年2,680件以上
					緊急手術件数（全身麻酔件数のうち）	年780件以上
			55	全入院患者への服薬指導の実施	服薬指導実施件数	年23,200件以上
					服薬指導実施率	88%以上
			56	未収金の削減	催告書の送付	年3回以上
					臨戸徴収	年2回以上
			支出の削減			
			診療材料費の適正化			
			57	新規採用材料の厳密な選定	修正医業収益に占める診療材料費の比率	15.2%以下
					58	同種同効品への切り替え等による安価な材料の購入
			薬品費の適正化			
			59	採用薬品の厳密な選定	修正医業収益に占める薬品費の比率	15.6%以下
					60	後発医薬品への切り替え
			後発薬品目ベース	65%以上		
			金額ベース	64%以上		
			61	採用薬品の見直し	採用品目1,200品目以下の堅持	1,200品目以下
					期限切れによる年間廃棄金額	70万円以下
			委託費の適正化			
			62	委託業務の見直し	修正医業収益に占める委託費の比率	8.5%以下
			職員給与費比率の適正化			
			63	職員の定数管理	修正医業収益に占める職員給与費の比率	53.2%以下
			経営管理体制の強化			
			経営分析力の向上			
			64	経営改善に資する課題を抽出、研究	幹部職員への提言	1テーマ
			人材の確保			
			働き方改革の推進			
			65	タスクシフティングの推進	ドクターエイドの外来への介入（1日あたり）	7人
					放射線技師による核医学検査での静脈ルート確保とRI投与	年1,000件以上
					薬剤局が医師に対してタスク・シフトの要望調査を年1回実施して、新たな業務を1項目以上開始	実施・開始
			66	労働時間の適正な管理	（全職種） 時間外勤務を前年度より縮減する	縮減
					（全職種） 有給休暇の取得日数を前年度より増やす	増加
					（医師） 時間外勤務が年間960時間を超える医師数をゼロにする	0人
					（医師） 面接指導の対象となる医師数（延べ数）	30人以内
			67	働き方改革に対する理解を深めるための研修の実施	人事・労務管理に関するマネジメント研修の実施（院長を含む管理職層を対象）	年1回
					人事・労務管理の各種規程や勤務計画作成・管理に関する研修の実施（各科部長を含む医師を対象）	年度当初に実施

令和8年度の取り組み

大	中	小	No.	取り組み	指標	目標
			68	救急科医師のシフト制の確立	救急科医師 10名以上の維持	10名以上の維持
			働きやすい職場づくり			
			69	職員満足度の向上	職員満足度調査の結果「満足」「ほぼ満足」の割合	前年度以上
					問題点の改善に向けた対策の実施	実施
			70	多様な働き方を可能とする職場環境づくり	(出産・子育て世代) 休暇に関する制度周知説明会	年1回
					(障害者雇用) 雇用率	2.62%以上
					(プラチナ世代) 定年引上げに関する制度周知	年1回
					(看護局) 変則労働時間制に基づいた勤務シフト全部署で導入	全部署
			専門性の高い人材の確保			
			71	感染制御室の人材確保	感染症専門医 (成人対象) 確保	1名
					専従看護師 (ICN) 2名体制	維持
					専従薬剤師 1名体制	維持
					事務員 (常駐・週5日勤務) 確保	1名
			72	救急・手術部・ICUの人材確保・適正配置	手術介助ができるICU、ICU勤務可能な手術室看護師 増加	各2名
					救急外来・救急病棟両部署の勤務可能看護師 増加	2名
			デジタル化への対応			
			I Tを活用した患者の利便性向上			
			73	オンライン資格確認の利用促進	マイナ保険証の利用率	70%以上
			74	インターネット予約システム等の検討	Web予約件数	月95件以上
			I Tを活用した業務効率化			
			75	音声入力、遠隔画像診断補助システム等、更なるICTシステム、デバイス等の活用、環境整備の検討	費用対効果と予算を考えながら、実現の可否、時期を検討	検討
			サイバーセキュリティへの対応			
			76	情報セキュリティ対策基準等の充実	セキュリティ定期点検の実施	年1回
			77	情報セキュリティ意識の向上	サイバーセキュリティに関する研修会	年1回
			施設・設備及び医療機器等の計画的な整備			
			医療機器の計画的な整備			
			78	計画的な医療機器の更新・導入・廃棄	高額な医療機器の適切な更新	更新
			システムの計画的な整備			
			79	計画的なシステムの更新・導入	電子カルテシステム業者選定	選定
			施設・設備の計画的な整備			
			80	新病院移転までの現病院の延命化を図る	新病院移転までの修繕	修繕
			教育・研究等の充実			
			臨床研究部の充実			
			治験実施件数の増加			
			81	新規治験受託件数の増加	新規治験受託件数	年3件以上
			臨床研究サポートの推進			
			82	標準業務手順書の作成	特定臨床研究における標準業務手順書、書式の見直し・改訂	見直し・改訂
			人材育成			
			先進医療に対応できる医療職の育成			
			83	学術発表の促進、専門医取得のサポート	学会発表	年100回以上
					論文	年30編以上

令和8年度の取り組み

大	中	小	No.	取り組み	指標	目標
			看護師の専門性の向上			
			84	認定資格等の取得、特定行為研修への参加	感染管理、クリティカルケア領域、がん看護領域、高齢者看護領域および、不在領域（がん放射線療法看護、心不全看護、小児プライマリケア、呼吸器疾患看護）のうち資格取得者	1名以上
			薬剤師の専門性の向上			
			85	認定薬剤師の育成	新規認定資格	2名
			メディカルスタッフの専門性の向上			
			86	認定資格の取得・維持	臨床検査技師（新たな認定資格の取得）	3人
					放射線技師（　〃　）	1人
					臨床工学技士（　〃　）	2人
					療法士（　〃　）	1人
					管理栄養士（現在の認定資格の維持）	維持
			事務の専門性の向上			
			87	事務局内の専門研修の実施、外部の専門的研修への参加	内部研修	年5回以上
					外部研修	年60人以上
			臨床研修病院の充実			
			臨床研修病院の充実			
			88	卒後研修教育への注力	JCEPの訪問審査で4～6年の再更新	更新
			専攻医の育成			
			89	専門研修プログラムの充実	専攻医採用者　前年度より増加	増加
新病院に向けた取り組み						
建替事業の推進						
設計・工事の着実な遂行						
90	スケジュール通りに設計完了、工事発注、工事着手、工事完了	建替事業の進め方の検討	検討			
運営計画の検討						
91	運営体制の確立	機能強化する部署（手術室、ICU、救命救急センター、透析室、等）のスタッフ育成	育成			
		増員が必要な部署のスタッフ採用	採用			
建替事業の情報発信						
事業の目的や計画等の発信、周知						
92	新病院建設Newsの発行、新病院出前講座の実施	新病院建設Newsの作成、公開	作成・公開			